



関西支部報

http://jac.or.jp/kns/

ナンガマリから再びヒマラヤへ

竹中雅幸

2016年秋、関西支部設立80周年記念行事として行われた、東ネパール・ナンガマリ登山から4年が経ちました。当時26歳の私は、最年少の隊員として登山隊に参加させていただきました。見るものすべてが初めてのヒマラヤで、重廣恒夫隊長の指揮のもと無事ナンガマリⅡ峰に初登頂することができ、帰りのキャラバンではカンチェンジュンガやマカルーなど、本や写真でしか知らなかったような巨峰を望みながら、次はどうしようかと考えていました。

翌年の冬、私は西ネパールを歩いていました。またヒマラヤに行きたいとは思いつつ、きっかけを見い出せず悶々としていたところ、ナンガマリ登山隊のメンバーである岩井賢助君からの誘いを受け、まずは行動に移そうということで1年ぶりのネパール行となりました。このときは西ネパール第一、第二の高峰であるアピとサイバルの間の谷を訪れ、魅力的な未踏峰をこの目で見ることを目的としていました。偵察トレッキングと銘打ち、あわよくば翌年には本番を……と考えていたのですが、目標の未踏峰は急峻な岩壁と氷河におおわれ、どこを登路とすればよいものか、私たち2人には見当もつかず引き

返すこととなりました。

ナンガマリの時とは違い、西ネパールの旅は非常にこじんまりとしたもので



未踏峰ジャルキャヒマール 写真提供：Paulo Grobel氏

した。男2人旅で、ネパール人スタッフはガイド1名とポーター2名の3名のみ。ローカルバスに揺られること36時間で車道終点の街へたどりつき、ルピーを握りしめてその日の宿を訪れる。食べるものは毎日毎日ダルバート。村がなくなれば、日本の山と同じくテントを背負ってさらに谷を進んでいきました。

1ヶ月間の西ネパール行で、ヒマラヤ登山の手配については多くの経験を積むことができました。宿や食事、ポーターや許可取得など全体的な相場観もつかむことができたように思います。しかし当たり前ですが、最後に待っているのは巨大な山登り。山を見上げて登路の想像がつかないということは、根本的な経験不足以外の何物でもないということを痛切に感じさせられました。

令和2年 関西支部総会のご案内

日時 2020年4月22日(水)午後6時30分
場所 大阪凌霜クラブセミナー室
大阪駅前第1ビル11階 ☎06-6345-1150
議事 ①令和元年度 活動報告、会計報告
②令和2年度 活動計画、予算他
懇親会 老房(ラオフアン)午後7時30分より
会費5,000円
同ビル12階 電話06-6341-7051
*3月31日までに同封ハガキに63円切手を添付の上出欠をご返事ください。
連絡先 総務：岩崎しのぶ ☎090-5365-8446

| | |
|----------------------------|----|
| ナンガマリから再びヒマラヤへ 著者と語る会報告 | 1 |
| 2020年関西支部新年会報告 | 3 |
| 支部山行報告 | 4 |
| 中久保忠伸 | 1 |
| しつかり歩こう | 5 |
| 岡野武司 | 5 |
| ゆるやか山行「里山探訪2」 | 5 |
| 横山規江 | 5 |
| しつかり歩こう | 6 |
| 黒田京子 | 6 |
| 比良山系を歩く | 6 |
| 黒田記代 | 7 |
| ゆるやか山行「里山探訪2」 | 7 |
| 深澤優子 | 7 |
| 月例会(11月) | 7 |
| 連俊樹 | 8 |
| 4000山グランプリ | 8 |
| 重廣恒夫 | 9 |
| しつかり歩こう | 9 |
| 薦田佳一 | 9 |
| ゆるやか山行(忘年山行) | 10 |
| 岩崎しのぶ | 10 |
| 六甲山を歩く | 11 |
| 松仲史朗 | 11 |
| 個人山行(10月・12月) | 11 |
| 山内優祐 | 11 |
| 本山寺山森林づくりの会活動報告 | 12 |
| 武田壽夫 | 12 |
| 新入会員・会友紹介 | 13 |
| 会務報告 | 13 |
| 第8・10回役員会議事録 | 13 |
| ルーム目録 | 14 |
| 六甲山の歴史と文化(その3)有馬温泉 | 15 |
| 中村三佳 | 15 |
| 山行委員会行事案内2020年4月 | 19 |
| 自然保護行事2020年4月 | 19 |
| 編集後記 | 19 |

あの西ネパールから3年。ここ最近は、クライミングやアイスクライミングに取り組んできました。大学山岳部で登山を始めた私ですが、運動神経もあまりよい方とはいえ、今思えば学生のころはロープを使った登山から逃げ回っていたように思います。しかし、それでは成長はないと気づかされ、またパートナーに恵まれたこともあり、昨シーズンは6週連続でアイスクライミングに通い、学生時代からは考えられないシーズンの過ごし方となりました。

十分とはいえなくても、ナンガマリの時から少しは成長しているのではないかと自分自身で感じられる機会が増えてきました。それと同時に、ヒマラヤに行く時間はいつまでもあるものではない、という焦りも感じるようになってきました。具体的なアイデアがあるわけではない。それでも、行動に移そう。そう思い、周囲の山仲間にも声をかけて、ヒマラヤの勉強会を始めました。

そしてこの春、再びヒマラヤの未踏峰を目指します。今回目指すジャルキャ・ヒマール(Jarkya Himal または Jarkya Peak)6,473mは、ネパール政府が2014年に新たに解禁した104座のうちの1つです。それ以前に解禁されたものも含め、120座をこえる未踏峰が現在ネパールにはあります。その1つ1つをネパール政府のリストを参照して経度緯度を特定し、Google Earthの衛星写真を見て山容やアプローチを検討しながら山を絞り込んでいきました。マナスルの北方、ネパール・中国国境線上に位置するピークです。

最終的にメンバーは3名となりました。奈良で登山ガイドとして活動しており、このたび関西支部に準会員として入会することとなった平正彦さん、私と同じくナンガマリ登山隊に参加した立野里織さんです。先日の関西支部新年会には3名全員で参加させていただき、多くの方から激励の言葉をいただきました。関西支部の公式行事としては個人的な登山隊にも関わらず、茂木支部長以下、関西支部の役員・会員の皆さまには多大なご支援をいただき本当に感謝に堪えません。

私たちは決して経験豊富なパーティではなく、ジャルキャ・ヒマールという山も容易な山ではありません。今回はあえて氷河を登路としています。写真で見ると氷河には大きな段差がいくつもあり、アイスクライミングやクレバスを越える技術が求められると予想しています。今後ヒマラヤ登山を行う上で避けては通れないであろう氷河の経験を積みたいと思い、あえてこの山・このルートを選びました。また登山スタイルも事前に対岸にそびえるヒンドゥー・ヒマールという6,300m級の尾根

で順応を行ってから、なるべくフィックスロープを使わない軽量速攻スタイルで登りたい



アイスクライミング合宿にて 写真：竹中雅幸

と考えています。身の丈にあわない夢かもしれませんが、それが今後のさらなる夢に繋がっていくと信じています。

この支部報がお手元に届くころ、私たちはヒマラヤの山中にいるはず。約50日間、全力で頑張っています。

データ

隊の名称：日本ジャルキャ・ヒマール登山隊2020

目的：(1)未踏峰 Jarkya Himal 6,473mの初登頂
(2)少人数小規模登山隊によるアルパインスタイル登山の実践

期間：2020年3月1日～4月18日(49日間)

メンバー：隊長 竹中雅幸(30)

登攀リーダー 平正彦(40)

隊員 立野里織(43)

ネパールの沢登りとトレッキング

10月31日出発～11月16日

●【沢登りパーティー】

ランタン溪谷トリスリ谷沢登り(ゴサインクンドへ上がる)未記録の標高差3000mの谷を6日かけて溯行し、7日目にスルヤピーク5145mの登頂目指します。定員10名。選考あり。

参加条件：沢登りの経験と意欲のある人で、富士山で高山病にならない人。

費用：20万～30万円

リーダー：茂木完治

●【トレッキングパーティー】

パラガン温泉と湖のゴサインクンド横断、小屋泊。ゴサインクンドで沢隊と合流してスルヤピーク5145mの登頂目指します。定員10名。選考あり。

参加条件：富士山で高山病にならない人。

費用：20万～30万円

リーダー：久保和恵

※共に9/4-5の富士山トレーニング山行参加必要
問い合わせ、申込：

いずれも茂木完治(もてぎかんじ)宛5月30日迄

電話：080-3103-6770

メール：yib03510@nifty.com

著者と語る会報告 「道迷い遭難の構図」 青山千彰さん

関戸京子

11月16日 於：大阪セルロイド会館3階大会議室

講師の青山教授は山岳遭難研究の第一人者であり、日本山岳協会遭難対策常任委員でもある。わが国の山岳遭難事故の原因の多くが道迷いであり、それを防ぐために教授が提唱するPLP法について、豊富な事例を踏まえ、時にはユーモアを交えて、2時間の講演がなされた。

1. 道迷い遭難とは

(1) わが国の山岳遭難事故の傾向と特色

わが国の山岳遭難事故は増え続けている。特に高齢者の増加が目立ち、遭難者の多くが60歳以上である。ところが海外では10～30代の遭難者が多い。

なぜ日本では高齢者が遭難するのか。登山人口の高齢化や安易な登山ブームなどの要因があるにせよ、遭難の事故原因は実は道迷いが多く、40パーセントほどを占める。道迷いは、安全対策によって効果を上げやすく、これをなくせば事故は半減するのであるという。

山の中の道迷いは、街中の道迷いとは全く違う。疲労・消耗してくると、幻覚幻聴などを伴い、長時間死の恐怖にさらされ、命の危険につながる深刻なものとなる可能性がある。

(2) 空間認知能力は人によって違う

道迷いの主たる要因には空間認知能力の欠如がある。空間認知能力とは空間をとらえ、イメージする能力であり、この差が街中で迷いやすい人と迷いにくい人の差となる。

- ①目的地に行くときの地図の書き方にもその人の能力の持っている癖が現れる。ルートマップ方式は目前に捉えた興味のある建物などを進行方向に向けて目的地までつないでいく。サーベイマップ方式は、北を上にして、地形や街並みを上空から平面的に捉え、四辻などを目的地までを正確に描くやり方である。どちらが正しいというわけではないが、複雑な登山ルートの場合、ルートマップ方式で示すことはできないし役に立たないことが多い。
- ②人の持っている方向感覚は、入山時の情報に影響を受け、自分の方向感覚が正しい方向よりも左や右に何度くらいずれるかを知っておく必要がある。
- ③地図を見ると、常に上側を北とみる(ノースアップ)人と、地図を登山道の進行方向に向ける(トラックア

ップ)人がいる。カーナビではトラックアップを使用する人が多いが、山ではジグザグ道など細切れ情報に振り回させてしまい、ノースアップでないと迷う。

(3) 道迷い実験から得られる道迷い者の特徴

道迷いとは山中で現在地を見失い、どこに行ったらいいかわからなくなることである。

道迷い者の特徴は、情報量が極端に減少する中で、ごくわずかな情報に飛びついてしまい、これまでの検討場所から遠く離れた場所を現在地と思い込んでしまう。

また、藪の中での移動速度は思いのほか遅く、もとの場所に復帰するのに時間がかかり、深刻な遭難につながる。そのため、藪に入り込んで登山道が完全に見えなくなったら、その段階で引き返すべきであるという。

2. 道迷いを防ぐにはどうすればよいか

上手な山歩きの仕方は、常に地図を見てチェックポイントを予測し、確認する作業を繰り返すことである。

(1) 道迷いを防ぐPLP法とは

PLP法は、地図を利用して現在地を特定する方法で、登山道を基準に、地形図の点(point)、線(lines)、面(planes)の情報を利用し、現在地の位置を特定するもので、誰でも経験的に使用している。地図の中に歩く予定ルートを描き、点(駅、分岐点、川との交点など)、線(道自身のカーブの曲線、道と谷筋の方向)、面(湖などの面的空間への方向)などからチェックポイントを見つけておいて、実際に歩く時に、チェックポイントを確認しつつ進むやり方である。事前に地図を見てコースを予想しておくことが大切である。

(2) 道迷いを防ぐ方法のまとめ

- ①地図、コンパス、GPSなどあらゆる情報を活用する。
- ②道迷いに気づいたとき、まず立ち止まって座る。次に自分のいる場所が、登山道の内か外かを考える。その際、上か、下か、とどまるか、日本では「道に迷ったら上に行け」といわれているが、外国では逆で、必ずしも上に上がることが正解ではない。ケースバイケースで対処するしかない。
- ③完全に迷ったときは動かない。早めに連絡することを考える。
- ④最悪の場合には煙を出す。

3. 感想

誰でも多かれ少なかれ、山を歩いて道に迷った経験はあるだろう。昔は真っ先に地図を見て現在地を確認したが、今はスマートフォンのGPSを見るが多くなった。そのため、どのようにGPSなどと地図やコンパスを効率的に組み合わせ、道迷いをなくすかが課題として残っていると感じた。

【参加者】 石原順子、大津陸郎、岡田輝子、岡野武司、小黒節郎、斧田一陽、金井健二、金井良碩、久保和恵、黒岩敦子、柴田美生子、関戸京子、高木知子、武田壽夫、田島聖子、田中アキ江、淡野隆久、豊田哲也、中久保忠伸、中谷絹子、西尾俊子、野村康、深澤優子、茂木完治、山内幸子、横山規江、若林朋世

(会員外4名) 計31名

2020年 関西支部新年会報告

菱田克彦

令和2年1月22日(水)18:30～

於 大阪梅田「大東洋」

1月22日(木)午後6時半より「大東洋」において、日本山岳会関西支部の新年会が開催され、51名の方が参加されました。

まず初めに、昨年支部長になられた茂木完治さんからお話がありました。支部長になられての抱負を改めて述べられ、また新しい取り組み(月例会等)の紹介がありました。

続いて、昨年永年会員となられた中島隆さんと鹿田勝さんが紹介され、中島さんの音頭で乾杯となりました。胸に付けられたバッジが50年の歳月を語るように重く輝いていました。

3月に行われる竹中雅幸さんのジャルキャ・ヒマール登山、日本山岳会創立120周年記念事業グレート・ヒマラヤ・トラバースの計画の紹介がありました。竹中さん、重廣恒夫さん頑張ってきてください。

そのほかにも宗實さんご夫妻など多くの方々にお話を伺うことができました。

見慣れた山男、山ガール姿でなく、スーツを着たり、和装をされたりと、いつもとは雰囲気違った方も多く、とても楽しい宴席となりました。美味しい料理と酒、楽しい山の話で、会場のあちこちで盛り上がり、あっという間に予定の時間が来てしまい、金井良碩前支部長の音頭による一本締めで閉会となりました。

最後に、私事になりますが、勤務先の関係で一昨年10月に大阪に来て、この3月末に栃木に戻ります。昨年の新年会に参加させていただいたことからスタートし、会員会友となり、この1年間多くの山行に参加できたこと、多くの素晴らしい方々と交流できたことをうれしく思い、機会を与えてくださいました皆様に変感謝をしております。

栃木にも良い山がたくさんありますので、是非いらっしゃってください。

関西支部のますますの発展を願っております。どうもありがとうございました。

海外登山の募集

台湾の玉山(南峰、本峰、東峰、北峰)と八通関古道

期 日：7月18日～25日(岩稜とテント泊あり)

玉山の4峰登頂して東埔温泉へ八通関古道を下山します。定員10名。選考あり。

参加条件：関西支部会員・会友に限る。
富士山登山で高山病にならない人。大キレット同等の岩稜縦走経験者。

費 用：20万円前後

問い合わせ、申込：茂木完治宛に4月30日迄

電 話：080-3103-6770

メール：yib03510@nifty.com

2020年 新年会参加者

青木昭、新本政子、竹森壮孝、井関正裕、居谷千春、伊原哲士、魚津清和、浦上芳啓、大津陸郎、大西康郎、岡田輝子、斧田一陽、金井健二、金井良碩、清瀬裕司、久保和恵、黒岩敦子、黒田記代、黒田守彦、坂口和子、鹿田勝、重廣恒夫、嶋岡章、城隆嗣、平正彦、高木知子、竹中雅幸、立野里織、辻和雄、豊田哲也、中島隆、中谷絹子、中村久住、中村三佳、野口恒雄、野村珠生、野村哲夫、野村康、橋本圭之輔、菱田克彦、平井一正、平林克敏、廣田猛夫、三宅康子、宗實慶子、宗實二郎、村田かおり、茂木完治、山内幸子、山田健、山本義博(51名)

支部山行報告

支部山行19-21 沢登り例会

「鈴鹿・宇賀溪・ホタガ谷」

中久保忠伸

8月31日(土)曇

天気が悪く、四国の泊りがけの谷を鈴鹿・宇賀溪のホタガ谷に変更した。

宇賀溪駐車場から溪沿いにしばらく歩き林道が谷を渡るところの上流が出合となっておりここから入谷する。出合には10mの滝が上がり上はナメ状になっている。それぞれ滝身の右や左をバランスよく登る。みんなうまいものだ。そのあとも小滝が続き、浸かったり、へつたりして遡行を楽しみながら越えていく。やがて正面からは支流が入り、本流は右に曲がる。そこには15mの美しい滝が落ちている、ゴルジュの入り口である、ここは左岸から巻きあがるも上へ上へと追いやられ、結局先ほどの滝の一つ上の滝頭へ45mの懸垂下降となり、結構時間がかかってしまった。両岸が壁となったゴルジュを皆それぞれに、へつりや、泳ぎで突破していくと、大きな釜をもった2段15mの滝が出現。下の滝を登ったとしても上の滝がつるつるなので、ここは一つ下の滝まで戻り、右岸の泥付きの岩場から樹林帯へと巻きあがり滝の上流へと抜けた。ゴルジュを抜けて谷も明るくなり小さな滝を超えながら進み8m二条滝を左から越すと左岸に杣道があらわれる。予定では別れ滝まで遡行して引き返すつもりが時間の関係もあり、ここで休憩後下山する。遡行時あまり気にしていなかったヒルが、最後の休憩時から杣道の下山時についていたと思われるが、ザックや沢靴、私などは首についていた。下山してからの着替え時はヒル、ヒルの悲鳴、合唱だった。



写真提供：中久保忠伸

【コースタイム】

入谷11:10～11:25 15mの滝～12:30懸垂下降終了～15:00

2段15mの巻き終了～15:40遡行終了

【参加者】

伊藤美沙、薦田佳一、立野里織、豊田哲也、西田智子、茂木完治、中久保忠伸 計7名

支部山行19-24 しっかり歩こう

「丹波の山 金山から黒頭峰・夏栗山」

岡野武司

9月28日(土)曇

8時15分篠山口駅に集合しバスに乗車するが、途中、西紀支所で乗り換え追入のバス停で下車。周辺は、田畑が広がる。登山口は、バス停の少し後方にある。

9時20分に登山を開始し、雑木林の中の少し急な登り道を歩く。時たま、林の切れ間から篠山市内の風景が望める。歩き出してから20分ほどで稜線に到着し一本立てる。休憩後尾根道を進むが、あまりいい景色に恵まれることのない登山道である。急な登りもなく20分ほどで鬼の懸け橋に到着。大岩の上は眺めもよく、篠山市内がよく見渡せた。この岩(大きさ2～5m)だが、どのような経緯で、山頂に巨石があるのか？ 多分スケールの長い時間をかけて出来たのだろう。

少し登って最初のピーク、金山に到着。金山のピークは、直径30～45mの平らな円形状で戦国時代に城があったようだ。篠山市内の景色だけでなく、周辺の山々の眺めのいい場所だった。その後、瓶割峠を目指し1時間少しで到着。雑木林に囲まれた峠で適当な平地があり、少し早いので、ここで昼食を兼ねた休憩をとる。瓶割峠から20分程歩いた地点に奥坪山に向かう少し荒れた登り道があり、何とか奥坪山に到着。奥坪山での休憩の後、30分程で展望のない黒頭峰に到着。黒頭峰からはひたすら歩き佐仲峠に到着し、三尾山へは急な登り道を歩く。三尾山山頂は何も遮るものがなく360度の大きなパノラマの展望でゆっくり休憩する。その後夏栗山に向かう。ピークには高さ5m位の鋼鉄製の展望台が設置されていて登ったが、景色は見えない。多分、設置した当時は見晴らしも良かったのであろうが、周辺の樹木が高くなって、景色を遮ったのであろう。

夏栗山をピストンした後、尾根を忠実に下っていったので最後は獣道になり、四苦八苦したが、何とか高蔵寺に到着した。

前日の天気予報では、にわか雨があるとの事だったが、1mmの雨に降られることなく山行を終えた。



鬼の懸け橋にて 写真提供：山内幸子

【コースタイム】

金山登山口09:20～10:15金山10:23～11:27瓶割峠11:55～13:11黒頭峰13:33～14:27三尾山14:46～15:57夏栗山16:03～16:44高蔵寺16:57～17:32大山新バス停

【参加者】

山内幸子、久保和恵、永井和、宗實二郎、岡野武司
計5名

支部山行19-28 ゆるやか山行【里山探訪2】

歴史と文化を訪ねて

「天狗の森から千丈寺山589.5m」

横山規江

10月17日(木)晴

東海自然歩道を歩くシリーズを終え、場所は北摂に。まず準備体操。案内板「天狗の森」には「六甲山の天狗が飛んで出かけ千丈寺山で一休み。登山し動植物の事を知り天狗の仲間入りをしましょう」と民話の世界へ。

落ち葉を踏みしめ、ひたすら丸太階段を登っていくとミカエリソウの群落が見事、白いマツカゼソウも爽やか、真っ赤なツチアケビも見えた。次に可愛い名の案内板「森のレストラン」には「オニグルミをリスは二つに割って、ネズミは横からかじる」と違いを説明。近くに炭焼窯跡もあった。リーダーのここから急登階段と注意があったが、ゆっくりのペースで助かった。やっと鞍部着。松住権現祠の傍の大木辺りにスズメバチを発見。そっと静かに立ち去り事無きを得た。北千丈寺山(576.9m)に到着するが展望が悪く、鞍部に戻り南へ歩を進める。岩場の痩せ尾根を過ぎ(南)千丈寺山(589.5m)山頂で昼食。

ここには三田市の山で唯一の一等三角点がある。山頂岩場直下には立派な千丈寺大権現が祀ってあった。

下りは予定より早かったのでバスの時間調整の為3つの展望ポイントでゆっくり景色を楽しみながら、最後はザレ場を下って北浦天満宮へ。比較的新しい鳥居に「震災ニヨリ平成9年4月吉日再建」とあり、阪神大震災が

ここまで影響があったとはビックリ！ 奇しくも東日本に甚大な被害を及ぼした台風19号のニュースがあったばかり。自然は楽しくもあるが計り知れないものだなと感じた。民話の世界から現実の世界へ。貸し切り状態のバスでJR新三田駅へ。



千丈寺山登山道、天狗の森へ入る 写真提供：菱田克彦

【コースタイム】

乙原9:25～10:57松住権現祠(尾根鞍部)～11:10北千丈寺山～11:40千丈寺山11:25～13:06展望ポイント(ザレ場)～14:09北浦天満宮14:22～14:50末吉バス停

【参加者】

久保和恵、山内幸子、魚津清和、黒田記代、薦田佳一、坂口和子、嶋岡章、田頭夏子、橋本圭之輔、廣瀬健三、菱田克彦、松村竹次郎、松村文子、森沢義信、山下政一、秋月修次、金川清弘、黒岩敦子、小林三喜男、中田栄、播戸日出生、横山規江 (会員外1名) 計23名

支部山行19-29 しっかり歩こう

「鳥見山～額井岳・戒場山」

関戸京子

10月20日(日)曇時々晴

榛原駅を予定より少し早く出発。今日は秋晴れとはいえないものの時折青空がのぞき、まずまずの登山日和。参加者全員しっかり歩き、しっかり汗をかいた。

住宅街を通り抜け鳥見山公園へ、小一時間ほどの登りですでに汗だくとなった。公園から鳥見山を目指し、杉林の中の踏み跡を頼りに歩き始める。きちんとしたトレイルであるが、けっこう急な坂だ(このあともっと急坂が待ち構えていたが)。しばらくして最初のピークである鳥見山(734m)に着く。木々がのびており展望はない。枯葉を踏みながら尾根沿いの道をたどり貝ヶ平山(822m)へ向かう。気持ちの和むような尾根道はまもなく結構きつい坂となる。今日は5つのピークを踏んだが、いずれも登りにはかなり汗をかかされた。残念ながらどの山も展望はなかった。

貝ヶ平山を越えてからは、地図とスマートフォンの

GPSを頼りに、行き先を確認しつつ歩いた。時々テープにつられて間違った道に迷いこみ、戻ったり登り直したりしつつも香酔山(795m)に到着、少し先の三角点でお昼とした。

しっかり汗をかいて登ったあとには、素晴らしい展望があることを期待してしまうのが人情である。だが、今回はそれがなく、ひたすら忍耐力を試すようなアップダウンに、疲労を訴える仲間もいた。

しかし、さすがにしっかり歩こうだから「ここまできたから予定通り最後まで行こう」と全員が言い、15時20分ころ今日最後の山になる戒場山(737m)の頂上に立った。

山を下りてからアスファルト道をしばらく歩きバス停を見つけた時にはほっとした。

ほぼ予定通り歩き、汗だくになって日ごろの雑念を洗い流し、充実した山行であった。



貝ヶ平山頂上 写真提供：山内幸子

【コースタイム】

榛原駅8:30～鳥見山公園9:30～四等△鳥見山10:00～10:35
二等△貝ヶ平山10:45～11:20香酔山～12:00四等△香酔
12:30～14:00四等△額井岳14:15～15:10三等△戒場山15:
20～16:45天満台東バス停

【参加者】

山内幸子、岩崎しのぶ、黒田記代、松仲史郎、岡野武司、
関戸京子 6名

支部山行19-32 比良山系を歩く 「武奈ヶ岳1214.2m」

黒田記代

11月10日(日)晴

秋の陽だまりの中、細川尾根から武奈ヶ岳に登る。バス停から細川尾根取付きまではすぐで、取付き点には小さな標識があった。広いなだらかな尾根を踏み跡に沿って登る。やがて急登の藪・岩・倒木まじりとなるが、最後まで踏み跡が続いていた。

細川尾根分岐から武奈ヶ岳山頂までは5分程。山頂付

近は風が強く、360度の見晴らしで多くの登山者で賑わっていた。風を避けられる斜面の平地を見つけ、昼食休憩とした。

御殿山へ下山を急ぐ。御殿山から坊村へは、紅葉の綺麗な谷沿いを進み、予定時間通りに坊村に下山した。



細川尾根を上る 写真提供：豊田哲也

【コースタイム】

細川バス停9:57～10:01細川尾根取付～10:59 P706m 11:
07～12:30細川尾根分岐～12:36武奈ヶ岳(昼食休憩) 13:04
～13:29ワサビ峠～13:35御殿山13:40～15:09坊村バス停

【参加者】

岩崎しのぶ、上田典子、久保和恵、黒田記代 豊田哲也、
中山勝也、永井和、松仲史郎、山内幸子、山本義博

計10名

支部山行19-33 ゆるやか山行【里山探訪2】

歴史と文化を訪ねて

「半国山774.2m」

深澤優子

11月14日(木)晴

JR亀岡駅改札口に集合。バスに乗り登山口に向かいました。途中、正面に頂上の平たい山が見えました。「あれが、半国山ですよ」と、背後から教えてくださいました。

赤熊のバス停で下車。鹿よけのゲートをくぐって登山道に入りました。しばらくは林道が続き、その終点あたりから、岩がゴロゴロ、流れを渡ったり、飛び越えたりしながら音羽溪谷沿いを登っていきました。急坂の左側には小滝がいくつか現れました。滝を横目に水の音を聞きながら、沢筋を歩きましたが、かなり、道は荒れていました。針葉樹の多い中、色づく木々もところどころにありました。荒れた道を皆さんたくましく登っていかれました。登山道を離れて数分歩くと半国山と烏帽子岳との鞍部に出ました。平地になっていて、「牛つなぎ広場」と名付けられていました。こんなところまで牛を連れてきたのでしょうか。この場所で、昼食となりました。鞍

部だけあって風が吹き抜け、汗ばんだ体に最初心地良かったのですが、11月も半ばだけあって、時間がたつと冷えてきました。食事後、山頂へ向け最後の急登を登りました。木の枝のトンネルの先に山頂がありました。3つの国の半分が見えることが名の由来である山頂からは、丹波方面の山々、京都の大文字山、比叡山、愛宕山、大阪方面にポンポン山、音羽山、大阪湾、六甲山までが見渡せました。お天気が良かったので360度のパノラマを楽しむことができました。

「60歳以上の人は杖を利用しましょう」という声に従い、ほぼ全員が杖を持ち、宮川方向へ下山しました。道が荒れていたため、当初の予定より少し東の登山道を下り、金輪寺に到着。境内のもみじは見事に色づいていました。少し戻って参道で宮川神社に出ました。参道沿いの木々は、赤や黄色の彩りを競っているようでした。宮川のバス停に到着すると、タイミングよく数分後にバスが到着。

お天気に恵まれ、美しい紅葉も楽しむことができ、さわやかな晩秋の山行でした。



山頂で。久々の集合写真で～す！ 写真提供：菱田克彦

【コースタイム】

赤熊バス停10:00～11:14烏帽子岳分岐～11:45鞍部12:15～12:45半国山12:55～13:05り溪分岐～13:10井出分岐～14:30金輪寺～15:15宮川バス停

【参加者】

久保和恵、山内幸子、新本政子、内田嘉弘、内田昌子、坂口和子、高木知子、田頭夏子、野口恒雄、橋本圭之輔、菱田克彦、深澤優子、前田正彰、松村文子、松村竹次郎、山崎詮、山下政一、秋月修次、金川清弘、黒岩敦子、小林三喜男、中田栄、横山規江 計23名

「山行ひろば」開催案内

支部ルームに集まり、登りたい山の話を楽しみましょう。会員間の交流を図る場としてご利用下さい。

5月27日(水)18:30～20:30

(担当：黒田記代 kuroda2822@kcn.jp)

支部山行19-34 月例会(11月)

「御在所岳」

漣 俊樹

11月23日(土)晴

JR高槻駅で集合し、車で御在所ロープウェイ湯の山温泉駅まで向かう。

この日は、ふもとから山が見えるくらいの晴天であり、登頂後の景観に期待しながら歩き始める。県道577号沿いを歩き、中道登山口から山道に入る。木々に囲まれながらの山道は日陰で心地よかったが、岩場に出た途端、日が照って汗が吹き出してきた。途中おぼれ岩や地藏岩という奇岩があり写真を撮ったり、岩に挟まったりして楽しんだ。



御在所岳・中道六合目のキレット
写真提供：柴田美生子

登っていくと次第に景観がよくなる。富士見台からは富士山を見ることができたみたいだったが、この日は見えなかった。皆、景観を楽しみながらゆったりと登り、汗だくになりながら

も無事登頂することができた。遠くのほうでは、北は白山、東北に恵那山まで見渡すことができ心躍った。紅葉のピークは過ぎていたものの、日が昇るにつれ、太陽の光が山々に差し、紅葉が輝いているようでとても綺麗だった。藤内壁を横目に沢沿いを下山し、そのままJR高槻駅へ向かい18時頃に解散した。

今年の週末は、なかなか好天に恵まれないことが多かったが、今回の山行は良い天気で、秋を愉しむことができた良い山行であった。

【コースタイム】

湯の山温泉駅9:00～9:30中道登山口～10:20おぼれ岩～11:30富士見台～12:20御在所岳山頂～13:30国見峠～14:45藤内小屋～15:15湯の山温泉

【参加者】

小黒節郎、黒田記代、漣俊樹、柴田美生子、豊田哲也、菱田克彦、茂木完治 計7名

支部山行19-35 4000山グランプリ14
「笠塔山(1049.5m)・悪四郎山(782.1m)」
 重廣恒夫

11月23日(土)晴

紀伊田辺駅からバスで栗栖川バス停まで行き、そこからタクシーで笠塔森林公園に向かう。森林公園入口のゲートは固く閉じられ、谷側から舗装道路に入る。しばらく進むと目の前に凄まじい光景が現れた。2011(平成23)年の紀伊半島を襲った台風12号の爪痕だろうか、道路は寸断され、引きちぎられた構造物が無残な姿を曝している。崩れ落ちた水路に沿って登り、ドン詰まりから排水溝を渡り道路に降り立ち管理棟跡に到着した。

不要な荷物をおいて荒れた遊歩道を登山道に向かう。立派な道標は残っているが、笠塔の滝を過ぎると階段は浮き上がり、風で吹き飛ばされた樹木が道を遮っている。崩壊した沢をいくつか通過してC地点に到着。D地点とI地点の分岐であり頂上まで1.5kmの表示がある。I地点に向かう登山道は水に洗い流され判然としないが、I地点を過ぎると急登ながら踏跡もしっかりしてきた。馬酔木の尾根を進むと電波塔が現れ、その先が頂上であった。展望の無い頂上を後にして往路を下山する。管理棟跡で荷物を回収してゲートの近くまで戻り、テントを張った。夜半に雨が降った。

11月24日(日)晴

予約しておいたタクシーで牛馬童子口道の駅に向かう。道の駅から熊野古道中辺路に入り、大阪本王子、逢坂峠、上多和茶屋跡を経て悪四郎山分岐から古道を離れて尾根筋を頂上に向かう。雑木の林から檜の植林帯を抜けると突然頂上の台地に出た。南斜面が伐採され少し展望がある。頂上から悪四郎屋敷跡に下り、古道に合流して分岐まで戻り往路を戻った。帰路、三体月鑑賞の地に立ち寄ったが展望はなかった。昨日の笠塔山では人に会うことはなかったが、今日は4組8人の古道歩きの外国人に会った。道の駅に戻り昼食と着替えをして、紀伊田



笠塔山三角点 写真：重廣恒夫

辺行のバスに乗った。

【コースタイム】

23日 笠塔森林公園入口11:20～11:56管理棟跡12:25～13:36 C地点13:50～15:12笠塔山15:22～17:30管理棟跡

24日 笠塔森林公園入口6:50(タクシー)7:15牛馬童子口7:35～8:31逢坂峠8:40～9:15上和多茶屋跡～9:36分岐～9:55悪四郎山10:05～10:17悪四郎屋敷跡10:20～11:52牛馬童子道の駅

【参加者】

重廣恒夫

計1名

支部山行19-36 しっかり歩こう
「高野山参詣道歩き 九度山～大門」

薦田佳一

12月1日(日)晴

南海九度山駅に集合。空海が開いた高野山町石道、歴史の道探訪を楽しむ山行で、総延長21キロ。九度山の慈尊院(180町石)から高野山大門へ、青空のもと歩き始めた。



町石の五輪塔 写真：薦田佳一

最初に慈尊院の境内にて住職より町石道の説明を受けスタート。コースは境内正面の階段から始まる。中段辺りで古びた読みづらい案内板があり、最初の180町石の五輪卒塔婆、歴史を感じさせる。ここから町石道が始まり全体的には緩やかな登りが続く。柿の

実を眺めながら登り一汗かいて最初の展望台で休憩。眼下に紀の川が広がり、遠くの青い山並みが素晴らしい眺めであった。

一休みして再び町石を確認しながら登る。五輪塔は梵字で書かれた我々にはわからない古いものから比較的読みやすいのものもある。可愛い石仏の前を過ぎると六本杉と展望台、二ツ鳥居が続き、さらに進むと明るく開けた神田の里、広々と開けた地藏堂前に着く。ぽかぽか陽気の下、ここで昼食をとった。畑が広がりのかな風景である。食後再び森の中、黄色い落ち葉を踏みしめて、ゆるやかなアップダウンを繰り返し、次々

現われる町石を確認しながら進み、矢立茶屋、六地藏(59町石辺り)の登りに取り付いた。谷沿いのコハウチワカエデの木が真っ赤に紅葉して心を和ませてくれる。急坂を登り切ったところで目的の大門に出る。何とか明るいうちに到着。



高野山大門前 写真：藤田佳一

その後、根本大塔西にある1町石を確かめて今日の山行を終える。ケーブルで下山、極楽橋駅から車内で団欒して解散となる。

総歩数は何と35,800歩であった。お疲れ様でした。

【コースタイム】

南海高野線九度山駅8:35~9:10慈尊院~六本杉10:50~11:30二ツ鳥居~13:05笠木峠~13:56矢立~16:00大門

【参加者】

山内幸子、小黒節郎、黒田記代、深澤優子、菱田克彦、松中史郎、宗實二郎、藤田佳一 8名

支部山行19-37 ゆるやか山行(忘年山行)

【里山探訪2】歴史と文化を訪ねて

「お菊山」

岩崎しのぶ

12月5日(木)晴

標高が354mと低山ながら、歴史的魅惑一杯のお菊山を目指しJR新家駅をスタート。

街中を南に向かう。新家の三本松は、地域に絶えなかった争論を月光院の僧侶が和睦を成立させ、その記念に植えた松で3本植えると幹が一つになったとのこと。玉ねぎ顕彰碑は、泉州玉ねぎを地域の特産品として広めた森本徳松の功績を讃えている。

阪和自動車道を越え川沿いを更に進み、西への分岐をたどると畦の谷地藏尊だ。谷の岩が常に湿っていたことから「汗の谷」となり、いつしか今の「畦の谷」になったという。中世から近世にかけ新家を取り巻く泉南一帯は大水・旱魃、戦争の繰り返しで病気が流行り、人々は困

窮していたが、新家を寺領とする根来寺の僧がその苦しみが少しでも和らぐようと、地藏尊を刻み込んだといわれる。休憩と衣類調整を済ませ元のルートに戻る。

お菊山登山口を進み、沢筋に入っていく。石がゴロゴロして歩きにくい道はやがて尾根に到達。両脇の樹々には名札が取り付けられ、ハゼの紅葉がひととき鮮やかだ。下山者にスズメバチの巣があるからと注意されたが、無事通過した。於菊山四等三角点は高倉林道へと続く道はかなり下る。すぐ下に車道が見えた。元のコースに戻りお菊山山頂に到着。お菊の石碑と松の木が立っている。非業の死を遂げた豊臣秀次の娘お菊は、家臣の手によって逃れ、この地域の豪族の娘として成長。紀州の代官と結婚し、大坂夏の陣で豊臣方についた夫のために密使を引き受け、大坂城までの道中、男装する為髪を切り落としこの松の木の根元に埋めたとされている。

山頂からは泉南の街が、その先には紺碧の大阪湾が広がり、関空が浮かぶ。絶好の昼食場所だ。

30分の休憩後、登山道を東へ進む。下山道を左に見て更に進むとやがて於菊松三等三角点に到着。展望は無いが今回の最高地点354mだ。引き返して歩きやすい青少年の森への下山道を下る。やがて舗装道になり、ヘアピンカーブをひたすら下る。ウグイスカグラ、ピナンカズラなどが赤い実をつけている。

昭和池で小休止の後、畑と民家の間を新家駅へ。予定より1時間も早く到着した。今回の参加者の平均年齢は76.7歳とのこと。80歳代、あの軽やかな足取りは何だ!! 私なんかまだまだひよこ。皆さんから沢山のエネルギーを頂いた山行だった。

その後京橋の銀座ライオン店にて忘年会。浅田氏がはるばる忘年会の為に向いてくださった。



お菊山登山口は沢筋の悪路から 写真提供：魚津清和

【コースタイム】

JR新家駅9:24~9:37新家の三本松~9:42玉ねぎ顕彰碑~10:08畦の谷地藏~10:37沢筋入口~11:43於菊山三角点~11:56お菊山12:34~13:11於菊松三角点~14:06昭和池・青

年の森～14:59JR新家駅

【参加者】

久保和恵、黒田記代、新本政子、岩崎しのぶ、魚津清和、金井健二、金川清弘、黒田守彦、薦田佳一、坂口和子、助川征、高木知子、田頭夏子、中山勝也、野村哲夫、橋本圭之輔、菱田克彦、広瀬健三、森澤義信、山崎詮、山下政一、秋月修次、黒岩敦子、小林三喜男、田中アキエ、中田栄、播戸日出生、横山規江 計28名

**支部山行19-38 六甲山を歩く
「六甲全縦を逆行して」**

松仲史朗

12月14日(土)曇り

阪急宝塚駅前に集合。少し寒く感じるが「六甲山を歩く」では久々の好天が期待され楽しみだ。まずは塩尾寺(えんぺいじ)を目指す。武庫川の宝来橋を渡り、住宅街を流れる塩谷川に沿って坂を登って行き、甲子園大学の前を通過すると^{ひと}人氣がなくなった。坂道や曲がりくねった道を抜け、塩尾寺休憩所で汗を拭う。塩尾寺まで急登のアスファルト道をひたすら登る。塩尾寺の石柱と近畿自然歩道・六甲全縦走の道識がある。ここから山道になる。

縦走路を直進すると、砂山権現、岩倉山(小林)に到着。岩倉山頂上は縦走路から北側に少し入ったところにある。祠があり、その前に三等三角点(488.4m)がある。「大平山をへて六甲最高峰へ」の標識が見え、大平山(西山)を目指す。しばらく歩くと、大谷乗越に到着。車道を渡ると、その先は全縦路の関門の一つの急階段だ。下る時も苦労したが登ってみてもなかなか手ごわい。さらに縦走路を西に進むと、やがて大平山に到着。三等三角点(681.2m)は無線中継所裏側にある。大平山山頂で弁当を広げる。しばらく縦走路を進むと船坂峠。峠を越え、樹林帯を先へ進む。次第に勾配がきつくなり、アップダウンの繰り返すと、再び車道に合流。この車道に沿って歩き、鉢巻山トンネルを潜り進めば、一軒茶屋に着く。

六甲山頂(六甲山)の一等三角点(931.3m)と六甲最高



六甲山最高峰 写真提供：前田正彰

峰碑を目指す。六甲最高峰には大勢の観光客が訪れていた。最高峰を後に魚屋道を快調に進み、ほぼ定刻に有馬温泉バス停に到着し、解散した。

【コースタイム】

阪急宝塚駅9:09～10:01塩尾寺～10:21岩倉山三角点～11:02大谷乗越～11:29大平山三角点～12:55水無山～13:40六甲山頂三角点～15:10有馬温泉バス停

【参加者】

前田正彰、山本義博、岡野武司、横山規江、深澤優子、松仲史朗 計6名

**支部山行19-39 月例会(12月)
「金剛山で忘年鍋山行」**

山内優祐

12月15日(日)晴

忘年鍋山行で金剛山に登った。ルートは、登山口から腰折滝を右下に見て、ツツジ尾谷の分岐からタカハタ道を登り、山頂広場へ。葛木神社-伏見峠-念仏坂経由でロープウェイ前バス停へと下った。トータル5時間半(内すき焼き90分)の行程であった。

食材や機材は皆で持ち寄り、私はガスコンロ2つの担当を茂木さんから任せられ、それらを60Lザックに詰め登った。登り始めは谷筋で足場は安定していたが、腰折の滝手前あたりに短い足場の狭いトラバースがあり、特に卵担当は細心の注意を払い登った。以降、尾根登りが続くが、特段危険な箇所はなかった。

無事山頂広場に着くと、既に多くの登山客で賑わっていた。日当たりの良い場所を確保し、2つのコンロを囲む形でレジャーシートを敷き、調理に取り掛かった。すき焼きはほとんど水を使わないので片付けも簡単であった。

帰りは辻さんのガイドで、山頂広場の少し上にある展望ポイントや葛木神社(金剛最高点・葛木岳1125mは境内にあり入れないらしい)、湧出岳の三角点、展望台、ちはや園地を巡りながら下山した。ちはや園地は例年であれば子供づれも多いそうだが、今年はロープウェイの運休もあり、人はまばらであった(ピザ窯があったので、次回の忘年山行のため下見した)。

以降、念仏坂の単調な舗装路を下り、無事、忘年山行を終えた。

【コースタイム】

金剛山登山口10:00～10:12黒梅谷道分岐～10:32ツツジ尾谷分岐～11:55山頂広場13:30～15:27ロープウェイ前バス停



山頂広場で「すき焼き」 写真提供：永野彰一

【参加者】

岡田輝子、小黒節郎、黒田記代、関戸京子、辻和雄、永井和、永野彰一、茂木完治、山内幸子、山内優祐（会員外2名）
計12名

個人山行(2019年10月～12月)

安全委員会に提出された個人山行登山計画書

| | | | |
|------------|-----------------|--------------|-----------------|
| 10月2日 | 越前 日野山 | 11月7日 | 高槻市 釈迦岳～ポンポン山 |
| 10月5日 | 鈴鹿 鬼ヶ牙 | 11月10日 | 丹波篠山市 八王子山～虚空蔵山 |
| 10月5日 | 比良 蛇谷ヶ峰 | 11月16日～23日 | 四国西部の山旅 |
| 10月4日～6日 | 小豆島 梅岳 | 11月16日 | 泉南 学文字山 |
| 10月6日 | 六甲 七兵衛山・打越山 | 11月17日 | 鈴鹿 御在所岳 |
| 10月7日～11日 | 信州百名山を巡る | 11月18日 | 葛城高原 二上山・雌岳 |
| 10月8日 | 泉南 学文字山～東山 | 11月19日 | 亀岡市 半国山 |
| 10月11日 | 京都 善峯寺の沢 | 11月21日 | 京都北山 峰山 |
| 10月12日～15日 | 防長 牝鋤先山～竜王山～狩音山 | 11月23日 | 六甲全山縦走 |
| 10月15日 | 和泉山脈 和泉葛城山 | 11月23日 | 丹波篠山市 松尾山 |
| 10月16日～18日 | 北ア 徳本峠越え | 11月23日 | 京都北山 皆子山(東尾根) |
| 10月19日～21日 | 大峰 白川又川から八経ヶ岳 | 11月23日～24日 | 大峰山系 白川又川支流岩屋谷 |
| 10月22日 | 台高山脈 三峰山 | 11月24日 | 奈良県 金剛山 |
| 10月22日 | 六甲 蓬莱峡 | 11月27日 | 葛城高原 二上山・雌岳 |
| 10月26日 | 三重 西経山 | 11月28日 | 六甲山系 六甲山上池巡り |
| 10月28日 | 播磨 日笠山～一本松 | 11月29日 | 高野山 弁天岳 |
| 10月30日～31日 | 大台ヶ原 伯母ヶ峰・添谷山 | 11月30日 | 奥高野 荒神岳 |
| 10月31日 | 大津 壺笠山 | 11月30日～12月1日 | 台高山脈 往古川・狸谷 |
| 11月1日～7日 | 台湾 小鳥来・北挿天山 | 12月1日 | 葛城高原 大和葛城山 |
| 11月1日 | 丹波高原 長老ヶ岳 | 12月5日 | 北摂 忍頂寺～竜王山 |
| 11月2日 | 京都西山 愛宕山～地蔵山 | 12月7日～8日 | 兵庫県 氷ノ山一鉢伏山 |
| 11月2日 | 丹波篠山市 海見山～柏野山 | 12月7日 | 丹波篠山市 槇ヶ峰 |
| 11月4日 | 奈良県 金剛山 | 12月8日～15日 | 四国西部の山旅 |
| | | 12月12日 | 京都 地蔵山 |
| | | 12月11日～13日 | 南紀 嶽の森山／中紀 真妻山 |
| | | 12月19日 | 大峰山脈 四寸岩山 |
| | | 12月19日～22日 | 北ア 白馬岳 |
| | | 12月21日～22日 | 祖母・傾山系 傾山、天神原山 |
| | | 12月21日 | 葛城高原 二上山・雌岳 |
| | | 12月23日 | 大阪・奈良県境 生駒山 |
| | | 12月25日 | 六甲山系 六甲山上池巡り |
| | | 12月25日 | 丹波篠山市 八王子山～虚空蔵山 |
| | | 12月25日 | 葛城高原 二上山 |
| | | 12月29日 | 京都北山 棧敷ヶ岳 |
| | | 12月31日 | 北摂 国見山～秀が辻山～高座山 |

「本山寺山森林づくりの会」活動報告(10～12月)

武田壽夫

◆日時：2019(令和元)年10月3日(木)9:30～15:00

活動エリア：44林班ろ

活動内容：間伐放置林の林床整備、風倒木などの処理

【参加者】泉家恵子、内海宏一、斧田一陽、工藤貴士、倉谷邦雄、小鶴道栄、武田壽夫、中村賢三、宮本 廣、山田真也、山本國夫 計11名

活動内容：切り放し間伐・倒木の処理、林床整備、過密広葉樹の除伐

【参加者】大本孝子、小櫃徹夫、斧田一陽、倉谷邦雄、薦田佳一、杉本佳英、武田壽夫、福西勇之介、宮本廣、山本國夫、(午後)山田真也、(体験)中川政寿 計12名

◆日時：2019(令和元)年10月20日(日)9:30～15:30

活動エリア：44林班ろ、は-1

活動内容：水源①の西側斜面の土留め作業(44林班ろ)とモニタリング調査区①の整備(は-1)

【参加者】泉家恵子、斧田一陽、大本孝子、小櫃徹夫、倉谷邦雄、黒山泰弘、薦田佳一、杉本佳英、武田壽夫、中村賢三、福西勇之介、宮本 廣、山本國夫 計13名

◆日時：2019(令和元)年12月5日(木)9:30～15:30

活動エリア：45林班ろ-03

活動内容：林床整備(倒し放し間伐木・倒木・枯損木・落枝の処理)過密広葉樹の除伐、作業道補修

【参加者】泉家恵子、石原順子、内海宏一、斧田一陽、小櫃徹夫、越野雅美、工藤貴志、倉谷邦雄、武田壽夫、豊田哲也、中村賢三、宮本 廣、山田真也、山本國夫 計14名

◆日時：2019(令和元)年11月7日(木)9:30～15:30

活動エリア：45林班ろ-03

活動内容：倒木処理、林床整備、過密広葉樹の除伐

【参加者】泉家恵子、石原順子、内海宏一、斧田一陽、工藤貴志、倉谷邦雄、越野雅美、武田壽夫、福西勇之介、宮本 廣、山本國夫 計11名

◆日時：2019(令和元)年12月15日(日)9:30～13:30

活動エリア：45林班に-01

活動内容：林床整備(枯損木・落枝の処理)、常緑広葉樹の間伐、里道補修、(ほかに物置清掃など)午後、反省会

【参加者】泉家恵子、石原順子、内海宏一、大本孝子、斧田一陽、倉谷邦雄、黒山泰弘、薦田佳一、杉本佳英、武田壽夫、福西勇之助、宮本廣、山本國夫 計13名

◆日時：2019(令和元)年11月17日(木)9:30～15:30

活動エリア：45林班ろ-03

登山計画書(届)の提出を！

遭難対策として登山計画書を提出してください。

計画書の作成は、より豊かな山登りへの第一歩です。

- ・個人山行を含む全ての登山や日帰りハイキング
- ・緊急連絡先(留守本部)は家族でも可
- ・出発の直前でも提出可
- ・やむをえない場合は未完成でも可

□提出先：関西支部安全委員会

- ①メール：keikakukansai@yahoo.co.jp
 - ②FAX：0742(48)5946 黒田記代
 - ③郵送：〒630-8034奈良市五条西1-29-4 黒田記代
- ※各警察署等へは、別途提出してください。

178号の訂正

関西支部報178号の「山の日講演会報告」の執筆者は中久保忠伸さんでした。

ここにお詫びするとともに訂正いたします。

Room目録 (2019年/8月～2020/1月)

| | | |
|----------------|-----------------|---------------|
| 8月3日 支部事務処理 | 10月7日 財政検討会 | 12月6日 自然保護委員会 |
| 5日 財政検討会 | 23日 役員会 | 10日 支部事務処理 |
| 7日 役員会 | 24日 入会希望者面談 | 11日 支部報発送 |
| 18日 山の日講演会準備 | 28日 登山教育PJ | 役員会 |
| 21日 山の日講演会準備 | 11月6日 自然保護発送物持込 | 12日 総務事務処理 |
| 22日 HP打合せ | 12日 著者と語る会準備 | 17日 登山教室入会説明 |
| 登山文化研究会 | 財務委員会 | 25日 山行委員会 |
| 29日 財務事務処理 | 登山文化研究会 | 1月6日 財務委員会 |
| 安全委員会 | 13日 登山教育PJ | 7日 登山教室打合せ |
| 9月2日 関西登山史研究会 | 役員会 | 10日 支部事務処理 |
| 6日 自然保護委員会 | 20日 登山教育PJ | 14日 総務委員会 |
| 17日 登山文化研究会 | 27日 山行ひろば | 15日 役員会 |
| 18日 支部報発送 | 12月2日 支部事務処理 | 16日 登山文化研究会 |
| 役員会 | 3日 ジャルキャ・ヒマール | 安全委員会 |
| 19日 安全委員会 | 打合せ | 17日 沢登り打合せ |
| 25日 山行委員会 | 登山教室打合せ | 20日 登山文化研究会 |
| 山行ひろば | 4日 登山教育PJ | 24日 総務事務処理 |
| 30日 登山教室(初級)補講 | 6日 HP打合せ | 29日 山行ひろば |

六甲山の歴史と文化(その3)有馬温泉

中村三佳

六甲山の北麓には、天下の名湯、有馬温泉が湧き出している。六甲山の登山道の中でもよく知られている魚屋道は、ととやみちと読むのだが、江戸時代に灘地方の港から新鮮な魚介類を有馬に届けるため開かれたという。阪神電鉄深江駅の南、大日靈女(おおひるめ)神社に魚屋道の碑があるので、そこから北へ、魚売りの行商人になった気分で、稲荷神社から急坂を登り蛙岩、風吹岩、本

庄橋を経て一軒茶屋へと山上へ登り、下りに転じて射場山の麓を巻いて有馬温泉へと歩かれてはいかがだろうか。うおやみちとかさかなやみちと言われたこともあったが定着せず、やはりこの道はととやみちの方が雰囲気合っている。

明治時代の有馬温泉の話だ。夏、谷あいにある有馬温泉は神戸市街より少し涼しい。そのため、開港と同時に

外国人たちが避暑をするために多く訪れた。英国領事が4週間逗留するとか、ドイツ代理領事家族が通訳やコックを伴い7台の牛車で荷物を運び3ヶ月滞在する予定であるとか、外国人宣教師会議も開催されるなど、上海在住の外国人までもが避暑にやってきた。

現在では内湯があたりまえになっているが、それは第二次大戦後に掘削技術が発達してからのことである。当時は外湯のみで、現在の有馬本温泉“金の湯”の浴場がある場所に1か所しかなく、そこへ最盛期には一日千人以上の浴客が押し寄せた。そのため、各宿屋に“湯女(ゆな)”と呼ばれる女性がいる、温泉に入るタイミングを客に知らせ、客が入浴しているあいだは客の履物、着物を預かるといったことをして客をさばっていた。浴室は、一等、二等、三等と分かれ、二等と三等は立ち湯、しかも明治の中頃まで混浴であった。外国人が入浴する際には貸し切りになったが、入浴習慣のない彼らはあまり入らなかったようだ。

有馬温泉には、西宮、深江、魚崎、あるいは兵庫の港で朝獲れた魚介類が午前10時前後には届けられ、牛肉、鶏肉、卵、洋酒、缶詰、菓子にいたるまで、揃わないも

のではないと言われていた。牛乳に至っては、牛が数頭有馬に連れて来られ搾りたてが提供されていた。

タンサン坂を上って行くと炭酸源泉公園がある。明治の始めにはここから湧き出している水は毒水とされていたが、炭酸水だとわかると体に良いと評判になり、コップ一杯1銭で販売され、有馬に来てこの炭酸水を飲まない人はいないと言われるほど人気になった。

明治32年に阪鶴鉄道が三田まで開通すると、それまで神戸から有馬に行くには、住吉から六甲山を越えて入るか、六甲山をまわり込んで生瀬から入るかしかなかったが、アクセスが格段に良くなったことでますます有馬温泉は繁盛した。ところが明治時代、有馬温泉は新聞紙上であまり評判が良くなかったのである。

どんなブラック記事が掲載されていたかと言うと、当時、温泉宿では自炊をするのが一般的であったのだが、一年の計は夏場にありと宿屋がぼったくるといのである。客が米、油、醤油、炭、漬物、日用品などの品物を必要に応じて宿に求めると、宿屋はそれを帳簿に記し、客が出発の時に代金を支払うという仕組みであったのだが、宿屋は客に代金相当の量を渡さず懐を肥やしている。

スケッチ同好会

【報告】

第31回 万博記念公園

日時 2019年9月9日(月)

【参加者】岩崎しのぶ、金井良碩、小寺佳美、薦田佳一、嶋岡章、野村哲夫、播戸日出生 横山規江 計8名

第32回 奈良公園

日時 2019年11月11日(月)

【参加者】岩崎しのぶ、浦上芳啓、岡田輝子、久保和恵、小寺佳美、薦田佳一、嶋岡章、野村哲夫、播戸日出生、森沢義信、横山規江 計11名

第33回 大阪城公園

日時 2020年1月17日(金)

【参加者】浅田博三、岩崎しのぶ、浦上芳啓、岡田輝子、久保和恵、金井良碩、野村哲夫、播戸日出生、松上美代子、茂木完治、横山規江 計11名

【案内】

第35回

日時：2020年5月12日(火)～14日(木)

行き先：蒜山高原

交通：高速バスとコミュニティバス

費用：約4万円(「蒜山高原休暇村」宿泊費・高速バス代)

申込：3月31日(火)まで 担当：河野直子

e-mail：yamaboushi2352@gmail.com

携帯 090-6960-9998

備考：詳細は申込者に連絡

第5回 スケッチ同好会グループ展

日時：2020年6月26日(金)～6月30日(火)

会場：大阪市立総合生涯学習センター・ギャラリー B

(大阪駅前第2ビル5階 ☎06-6345-5000)



「大阪城」画：茂木完治



「興福寺南門堂」画：岩崎しのぶ

また“茶代”といって、いわゆるチップの習慣があり、その金額の多い少ないで宿のもてなしが違う。とにかく物価が高い。温泉街はというと、病人が養生して健康を保つ場所であるにもかかわらず汚く不潔で、愛宕山の中腹にある薬師堂(現温泉寺)は退廃し、広々とした庭には鶏を多く飼っていて、その辺りを散策すると糞と臭気で気持ち悪くなる。水は良いのだが、その水を通す水道管の木材が腐っていて臭気がするので降雨の時は決して飲まない方が良い。さらに、温泉場であるにもかかわらず使用する水が不足しているため、三等浴室は洗浄が行き届かず入浴しない方がよとも書かれていた。その他にも蠅が多いのだ、浴場には簾がかかっているが夜にランプが灯ると中が丸見えだの、と書かれていた。

それでも繁盛していた有馬温泉であるが、日露戦争を

境に世間では海水浴が流行し始め、山間の避暑地は人がなくなり、明治の終わりには温泉客が最盛期の3分の1にまで減ってしまった。一部の金持ちばかりを優遇し、また外国人からぼったくる精神が招いたことだとことごとく叩かれた。明治時代の新聞にこんなことが書かれていたなんて。

私は日帰り温泉をよく利用する。外国人の方々も多くいつも賑わっている有馬温泉は、どこもかしこも清潔でおもてなし満載だ。金泉にじっくりつかれば肩や腰がじわっと軽くなり、銀泉を流し掛ければ肌がさらりと若返った気分になる。湯上がり後は有馬サイダーをごくりと飲んで、体の中からシュパッと炭酸シャワー。六甲山の奥座敷、明治の頃はいざ知らず、有馬温泉は日本一。

2020年4月～6月 山行委員会行事案内

※後尾に申込み先連絡先掲載【いずれも締切厳守】

20-01 ゆるやか山行【里山探訪2】歴史と文化を訪ねて

「検見山475m・大峰山552m・安倉山465m(北摂西部の山)」

日 時：4月9日(木)

集 合：阪急宝塚駅改札口前 9:45

コース：検見橋BS～関電巡視路入口～鉄塔#42～検見山～鉄塔#5～大峰山登山口～大峰山～安倉山～親水公園～JR武田尾駅

地 図：2.5万分の1「宝塚」「武田尾」

備 考：歩行距離約10km 歩行時間約5時間

申込み：4月1日(水)迄(担当：久保和恵)

20-02 月例会(4月)

「京都北山 八丁平・峰床山・チセロ山」

日 時：4月19日(日)

集 合：京都バス出町柳駅前ターミナルのりば(7:35 7:45発朽木学校前行に乗車)

コース：葛川中村～二俣～中村乗越～峰床山～俵坂峠～チセロ山～古道峠～花脊交流の森前バス停

地 図：2.5万分の1「花脊」

備 考：やや健脚向け。

歩行時間6時間50分(休憩時間を除く)、歩行距離12km、累積標高差(上り)848m、累積標高差(下り)769m。帰路は花脊交流の森バス停より17:41発出町柳行(京都バス32系統)に乗車、出町柳着19:17の予定。途中、パーティーの状況により、俵坂峠より大悲山口に下

山することがあります。その場合も、出町柳着19:17は変わりません。

申込み：4月10日(金)迄(担当：永井 和)

20-03 しっかり歩こう

「鎧・兜岳から屏風岩公苑」

日 時：4月25日(土)

集 合：近鉄大阪線名張駅前7:50(8:05発のバスに乗車)

コース：名張駅＝鎧岳登山口～鎧岳～兜岳～国見山～住塚山～屏風岩公苑

地 図：2.5万分の1「大和大野」「俱留尊山」

備 考：鎧・兜岳のスリルある岩山を二山と国見山・住塚山の二山を登り、桜の名所・屏風岩公苑に下る欲張りな山行です。歩行距離約14km程ですがアップダウンの多いコースです。

申込み：4月15日(水)迄(担当：山内幸子)

20-04 ゆるやか山行【里山探訪2】歴史と文化を訪ねて

「ゴロゴロ岳565.3m・観音山526m」

日 時：5月7日(木)

集 合：阪急逆瀬川駅前 9:45

コース：盤滝口BS～湯ノ口取水口～仁川徒渉～大藪谷川～大藪谷川堰堤～大藪谷川源流～六甲・奥池分岐点～奥池園地～ごろごろ岳～観音山展望岩～鷲林寺BS

地 図：2.5万分の1「宝塚」

備 考：歩行距離約10km 歩行時間約5時間

申込み：4月28日(火)迄(担当：久保和恵)

20-05 しっかり歩こう

「白倉岳から雲洞谷山・東山」

日 時：5月17日(日)

集 合：江若バス停 朽木栃生 10:00

コース：朽木栃生～白倉岳～烏帽子岳～鷹ヶ峰～大彦
峠～雲洞谷山～行者山～東山～朽木学校前

地 図：2.5万分の1「饗庭野」「北小松」「久多」

備 考：比良の西にある白倉岳に登り烏帽子山・大彦
峠を通り雲洞谷山・行者山・東山と縦走し、
朽木学校前まで約14km縦走する静かな歩き
応えのあるコースです。朽木学校前から安曇
川行の最終バス18:20に乗りますので早歩き
になります。少雨決行。

申込み：5月7日(木)迄(担当：山内幸子)

20-06 六甲山を歩く

「六甲全縦の原点」

日 時：5月24日(日)

集 合：JR塩屋駅改札出口 9:00

コース：塩屋駅改札出口～旗振山～高倉台～榎尾山～
横尾山～高取山～鶴越駅～菊水山～神鉄・鈴
蘭台駅

地 図：2.5万分の1「須磨」「前開」「神戸首部」

備 考：歩行距離約23km 歩行時間約7時間(休憩除
く)

申込み：5月16日(土)迄(担当：松仲史朗)

20-07 月例会(5月)

「湖北・金糞岳1317mを下る」

日 時：5月30日(土)・31日(日)

集 合：大阪駅周辺30日午後(後日連絡します)

コース：鳥越峠～金糞岳～白倉岳～花房尾(白倉岳南
尾根)～奥山～高山キャンプ場

地 図：2.5万分の1「近江川合」「虎御前山」

備 考：登り1時間半、下り6時間の長丁場。条件が

申込み先一覧

| | |
|-------|----------------------------------|
| 久保和恵 | uncletorys05-kazu@nifty.com |
| 永井 和 | nagai.kazu@gmail.com |
| 山内幸子 | sacchyama2f0710@yk2.so-net.ne.jp |
| 松仲史朗 | mgjqk966@ybb.ne.jp |
| 水谷 透 | jacmztn@yahoo.co.jp |
| 茂木完治 | yib03510@nifty.com |
| 中久保忠伸 | qq8v9xu9tnnt@jcom.zaq.ne.jp |
| 関西支部 | kansai.jac@canvas.ocn.ne.jp |

揃えば白倉岳往復組も検討します。

バンガロー素泊り(3000～4000円)

車利用のため定員あり(台数による)

申込み：4月30日(木)迄(担当：水谷 透)

20-08 ゆるやか山行【里山探訪2】歴史と文化を訪ねて

「宝塚西谷～多田銀山(近畿自然歩道)」

日 時：6月4日(木)

集 合：JR武田尾駅前バス停 8:40

コース：西谷の森公園口BS～(近畿自然歩道)～ソエ
谷峠～多田銀銅山・悠久の館～村上新田～猪
名川町総合公園北口～総合公園前BS

地 図：2.5万分の1「武田尾」

備 考：歩行距離約11km 歩行時間約5時間

申込み：5月27日(水)迄(担当：久保和恵)

20-09 月例会(6月)ー新人歓迎山行

「生駒山地の高安山～信貴山」

日 時：6月7日(日)

集 合：近鉄信貴山口駅 9:00

コース：信貴山口駅9:05-(ケーブル)-9:12高安山駅
9:30～高安山10:00～弁財天滝往復10:30～松
永久秀の屋敷跡11:00～信貴山11:30～12:00
(昼食)～朝護孫子寺13:00～14:00(信貴山縁起
絵巻見学)～信貴山下駅15:00着(解散)

地 図：2.5万分の1「信貴山」

備 考：歩行距離約7km、地図の読み方、コンパス
の使い方などを学びつつ、ゆっくりと山を楽
しみましょう。

申込み：5月31日(日)迄(担当：茂木完治)

20-10 沢登り例会

「大台ヶ原：堂倉谷(沢登り中級)」

日 時：6月20日(土)・21日(日)

集 合：大台ヶ原駐車場午前11時(基本的にはバス利
用、大和上市発9時頃)車の場合もあります。

コース：大台ヶ原駐車場～日出ヶ岳～大杉谷の堂倉滝
～堂倉谷を遡行～林道の周辺泊～本谷を遡行
～登山道

地 図：2.5万分の1「大台ヶ原山」「大杉峡谷」

備 考：沢登り経験者に限る

募集人数は5～6名程度とします

山岳保険加入必須

申込みはメールにて

申込み：5月15日(金)迄(担当：中久保忠伸)

ステップアップ登山教室 一般対象

(会員参加可能、但し有料 1回1,500円)

初級

4月28日(火) 座学
 5月23日(土) △岩倉・焼山・西鎌倉山
 6月13日(土) 上之岳・鳥飼山・昼ヶ岳

中級

4月28日(火) 座学

5月12日(火) ナダレ尾山・古倉山・花折山

6月9日(火) 柏尾谷・東ノ峰

上級

4月28日(火) 座学
 5月21日(木) 岩登り基礎技術 蓬萊峡周辺
 6月11日(木) 岩登り基礎技術 百丈岩周辺

2020年4月～6月 自然保護行事案内

1.日本山岳会関西支部 本山寺山の森 森づくり活動

(本山寺山森林づくりの会活動)

活動日 4月2日(木)、4月19日(日)、5月7日(木)、
 5月17日(日)、6月4日(木)、6月21日(日)

予備日 雨天など中止の場合、翌週同様日

作業内容 倒木整備、人工林林床整備、常緑広葉樹除
 伐整備、土留棚積、歩道保全整備など

集合 JR京都線高槻駅北 アルプラザ前 8時40分

*体験作業、森林観察、入会、歓迎です。

2.東お多福山ススキ草原復元活動

(東お多福山草原保全・再生研究会活動)

活動日 4月18日(土)、5月20日(水)

予備日 雨天など中止の場合、翌週同様日

作業内容 全面刈払い、開花植物調査(予定)

集合 JR神戸線芦屋駅南口 8時30分

3.自然観察会・森林観察会

●本山寺山の森観察 参加見学

集合 上記本山寺山森づくりの会活動日と同じ

●東お多福山観察会

4月19日(日)、5月28日(木)、6月20日(土)

集合9時 東おたふく山登山口バス停

4.全国自然保護集会

「関西支部共催 7月4日(土)～5日(日)奈良県吉野山」で開催。詳細は「山」に募集案内が発表されます。ご参加お待ちしております。

問い合わせ・申込み先

斧田一陽(全般、自然保護集会)

☎072-633-6556/FAX 090-8480-6543

武田壽夫(本山寺山の森)

☎090-2042-9101

田島聖子(東お多福山活動・観察会) ☎078-411-3837

締め切り 自然保護集会を除き開催日の一週間前まで

〈編集後記〉

☆令和最初のお正月を燕岳で迎えました。初日の出はハヶ岳から顔を出し、今年もたくさん山に登れますようにと手を合わせました。槍ヶ岳はもちろん、南アルプスや富士山も見え、素晴らしい新年のスタートとなりました。と思ったら、恐ろしいウイルスがやってきて、ドラッグストアに行ってもマスク無し、薬用石鹸無し、消毒用アルコール無し。支部報が皆さまのお手元に届く頃には、事態が終息していることを願います。(中村三佳)

第179号 2020(令和2)年3月10日 発行
 発行所 〒530-0015 大阪市北区中崎西1-4-22
 梅田東ビル3階 304号室
 公益社団法人 日本山岳会関西支部
 e-mail: kansai.jac@canvas.ocn.ne.jp
 郵便振替口座 00930-6-55950
 発行者 茂木完治
 編集 加藤芳樹 中村三佳
 制作 株式会社 双陽社 大阪市北区堂島2-2-28



山岳雑誌 岳人

山と人、時代をつなぐ山岳雑誌「岳人」

毎月
15日
発売

【4月号特集】ソロキャンプで楽しむ登山

★モンベルのウェブサイト、全国のモンベルストアや書店にて発売中!

価格880円(+税)

▶年間購読がおすすすめ

購読割引

送料無料

Tシャツセット

通常価格
12冊

10,560円(税抜)
11,616円(税込)

年間購読
12冊

+Tシャツ

9,680円(税抜)
10,648円(税込)



年間購読のお申し込みはこちらから!>>>
<https://www.gakujin.jp/>



全国の
モンベルストア
でも受付中!

お問い合わせ
モンベルポスト

0120-982-682 / TEL 06-6538-5797
※フリーコールは携帯・IP電話からはご利用いただけません。

HydraPak

《ウォータータンクの最新定番》
ハイドラパック
シーカー2L

- ・軽量ながら優れた耐久性
- ・使用しない時は丸めてコンパクトに
- ・収納ケース付き

サイズ/286×133mm
キャップサイズ/42mm
重量/74g
素材/ウルトラデュラブルTPU/
高密度ポリエチレン(HDPE)

¥2,600(税抜)

輸入元: (株)ケンコー社 TEL: 06-6374-2788
※2020年春夏カタログをご希望の方は、弊社までご連絡くださいませ。

TITANSTRAPS

《超タフな万能ストラップ》
タイタン
ストラップ

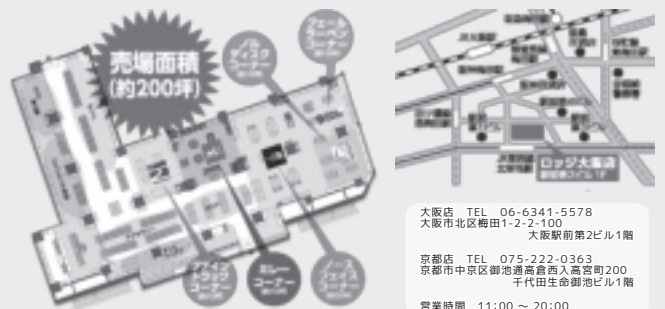


- ・アメリカでは消防やレスキューなどでも使用されているほどの強度
- ・豊富なサイズ展開で様々な用途に

| 強度 | 展開サイズ |
|-------|---------------------|
| 約27kg | 23cm/36cm/46cm/64cm |
| 約32kg | 51cm/64cm/76cm/91cm |

大阪店 Renewal OPEN!

売場面積約2倍!
大阪駅前第2ビル1Fに移転リニューアルオープン。
向島ラインナップもパワーアップ!!
人気ブランドをはじめ世界の一流品を取り揃えております。
新しくなった「ロッジ大阪店」。自信をもってお客様をお迎えいたします。
スタッフ一同、お客様の来店を心よりお待ちしております。



ロッジプレミアムショップ
楽天 <https://www.rakuten.co.jp/e-lodge-2>
Yahoo <https://store.shopping.yahoo.co.jp/lodge-premiumshop/>
ブログ <http://blog.goo.ne.jp/lodge4>
Instagram京都 <https://www.instagram.com/lodgekyoto/>
Instagram大阪 <https://www.instagram.com/lodge.oosaka/>
検索エンジンで「ロッジ」を検索してください。

URL一覧QR



世界の山旅手がけて51年!【山旅専門の旅行会社】アルパインツアーサービス(株)

大阪発着で行く!

世界の山旅 専用カタログが完成いたしました!

このたび大阪(関空・伊丹)発着でご案内する世界の山旅を集めたカタログが完成しました! ツアーリーダーが全行程同行する企画や新企画など多彩なラインナップでご紹介しております。お気軽にご請求ください。

【紹介エリア】

韓国最高峰・漢拏山登頂 マレーシア最高峰Mt.キナバル登頂 ノルウェー・フィヨルド展望ハイキング
マダガスカル ツインギー・トレッキング カナディアン・ロッキー・ハイキング スイス山小屋トレッキング
チロル・ドロミテ・ハイキング モンゴル・ハイキング コーカサス山脈花の谷ハイキング
ツール・ド・モンブランゆったりトレッキング 秋のユーコン・ハイキングとカヌー体験 キリマンジャロ登頂
トルコ・カッパドキア・ハイキング アメリカ・グランドサークル・ハイキング など



ご請求ください!

